

沖縄島北部行動計画に係る完了事業一覧（令和元年度までに完了した事業）

行動計画の事業項目	実施主体	事業名	対象地	事業概要 ＜関係する会議体＞	事業完了年度	備考欄 (現行事業との関係等)
<b>1) 保護制度の適切な運用</b>						
1 やんばる国立公園の管理	環境省	北部訓練場返還地の国立公園への編入	北部訓練場返還地	北部訓練場返還地をやんばる国立公園に編入することを目指し、自然環境調査を実施。地元関係者との調整を図る。	平成 29 年度	
2 やんばる森林生態系保護地域の管理	林野庁	森林生態系保護地域の保全管理計画の策定に向けた検討	やんばる森林生態系保護地域	やんばる森林生態系保護地域の管理と利用に関する保護管理計画の策定	平成 30 年度	
<b>2) 外来種による影響の排除・低減</b>						
1 侵略的外来種の防除及び定着・侵入防止の強化	林野庁	外来種侵入状況調査	沖縄島北部国有林	我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リストに掲載されている種を対象に、生息分布状況・分布規模を把握する。	平成 30 年度	
5 所有者のいないネコ・イヌの保護収容・譲渡施設の整備・運営	国頭村（世界自然遺産推進室）	国頭村森林地域内に生息するノイヌ捕獲業務	国頭村全域	遺棄されたイヌによる野生動物の捕食により生態系等の悪影響を防止するための捕獲	平成 29 年度	
<b>3) 希少種への人為的影響の防止</b>						
1 希少野生動物の交通事故等の対策強化	国頭村 大宜味村 東村	CSR 活動による地元団体と連携したロードキル防止対策事業	3 村全域	ロードキル防止の除草活動、看板設置を企業 CSR 活動と連携することにより、対外的にも希少種保全の普及啓発を図る ＜やんばる 3 村世界自然遺産推進協議会＞	平成 29 年度	
1 希少野生動物の交通事故等の対策強化	沖縄県（道路管理課）	うちなーロードセーフティー事業	やんばる地域	やんばる地域において、生物にふさわしい環境で生息するための道路環境の改善を行い、ロードキル防止、道路利用者の走行に対する安心感を確保するための対策を行う。	令和元年度	

行動計画の事業項目	実施主体	事業名	対象地	事業概要 ＜関係する会議体＞	事業完了年度	備考欄 (現行事業との関係等)
<b>4) 緩衝地帯等における産業との調和</b>						
1 やんばる型森林業の推進	沖縄県(森林管理課)	やんばる型森林施業推進事業／やんばる型森林ツーリズム支援事業	国頭村、大宜味村、東村	沖縄島北部の森林においては、自然環境の保全と環境に配慮した利活用として、持続可能な循環型「林業・林産業」と環境調和型「自然体験活動」を組み合わせた「やんばる型森林業」を推進していく。	令和元年度	
2 野生鳥獣の保護及び地域社会との共存	環境省	平成20年度ノグチゲラによる柑橘類食害実態把握調査	沖縄島北部3村全域	野生鳥獣と地域社会の共存を図るため、野生鳥獣の適切な保護管理による生物多様性の確保を行うとともに、農林業への悪影響や生活環境の被害の防止に必要な取組みを行う。	平成20年度	
<b>5) 適切な観光管理の実現</b>						
(修正前) 世界遺産に関する観光ビジョンの策定による持続可能な観光の推進	大宜味村	大宜味村第5次総合計画の策定	大宜味村全域	世界自然遺産登録を目指すことを踏まえ、観光における実働的人材育成をはじめ、観光受入体制拡充や既存施設を活用した取組などの観光振興推進を含む、総合計画を策定する。	平成28年度	
(修正前) 世界遺産に関する観光ビジョンの策定による持続可能な観光の推進	東村(企画観光課)	東村第2次観光振興計画の策定	東村	世界自然遺産登録を想定して、新たな方向性の設定、施策の基本方向などを「東村第2次観光振興計画」のなかで位置づけた。 ＜東村観光振興計画策定委員会＞	平成28年度	
1 沖縄島北部全体の持続的観光マスタープラン策定による持続可能な観光の推進	国頭村(企画商工観光課)	国頭村観光振興基本計画策定事業	国頭村全域	世界自然遺産推薦地としての自然環境の保全と利活用を図るため、基本計画に、持続可能な環境共生型観光の施策を盛り込む＜国頭村観光振興基本計画検討委員会＞	平成28年度	

行動計画の事業項目	実施主体	事業名	対象地	事業概要 ＜関係する会議体＞	事業完了年度	備考欄 (現行事業との関係等)
1 沖縄島北部における持続的観光マスタープランによる持続的観光の推進	沖縄県(自然保護課)	持続的観光マスタープラン策定事業	沖縄島北部3村	世界自然遺産やんばるにおける観光利用の在り方や方針を示す包括的な持続的観光マスタープランを策定する。 ＜持続的観光マスタープラン策定作業部会＞	令和元年度	
2 体験・滞在・交流による観光スタイルの確立	沖縄県(村づくり計画課)	農林水産業活性化拠点整備事業	本島モデル体制 ・国頭村 ・東村 ・大宜味村	○農山漁村地域における都市農村交流の需要に対応するため、継続的かつ計画的な受入れが可能な広域の交流拠点体制の構築、育成、取組の支援を行う。	不明	
2 体験・滞在・交流による観光スタイルの確立	沖縄県(観光振興課)	環境共生型観光推進事業	沖縄島北部	エコツーリズムに関する意見交換	平成29年度	
3 森林ツーリズムの推進体制の構築	沖縄県(森林管理課)	やんばる型森林ツーリズム推進体制構築事業	国頭村、大宜味村、東村	森林の適切な利用を図るため、利用ルールやモニタリング制度及び質の高いツアーを提供するためのガイド制度等の仕組みを創設すると同時に、持続的な資金の確保を図り、地域が自立してこれらを管理・運営する組織体制の構築(協議会の設置等)に向けた事業である。これにより、遺産価値の保全と森林の利活用の両立による山村地域の振興を実現する。	平成29年度	
3 森林ツーリズムの推進体制の構築	国頭村(世界自然遺産推進室)、大宜味村(企画観光課)、東村(企画観光課)	森林ツーリズム推進全体構想策定事業	国頭村、大宜味村、東村	森林の保全と適切な利用を図るため、利用フィールド、利用ルール、ガイド制度を構築し、持続可能な森林ツーリズムを行う。	平成29年度	

行動計画の事業項目	実施主体	事業名	対象地	事業概要 ＜関係する会議体＞	事業完了年度	備考欄 (現行事業との関係等)
3 森林ツーリズムの推進体制の構築	沖縄県(森林管理課)	やんばる型森林ツーリズム支援事業	国頭村、大宜味村、東村	前身事業である「やんばる型森林ツーリズム推進体制構築事業」により策定した、全体構想で定めた各種制度等を、やんばる3村世界自然遺産推進協議会(国頭村、大宜味村、東村など)が実施し、その支援を行う。	令和元年度	
3 森林ツーリズムの推進体制の構築	国頭村(世界自然遺産推進室・企画商工観光課)、大宜味村(企画観光課)、東村(企画観光課)	やんばる型森林ツーリズム推進事業 (※国庫補助及び県拠出事業)	3村の特定フィールド	3村世界自然遺産推進協議会策定の「森林ツーリズム推進全体構想」にもとづき、フィールド毎に利用ルールやガイド制度の仕組みを具体化した上で運用・検証し、やんばるの森の適切な利活用を目指すものである。＜3村世界自然遺産推進協議会(3村森林ツーリズム部会)＞	令和元年度	
4 フィールドの適切な利用コントロールの実施及び利用ルールの設定・遵守	環境省	・平成19年度やんばる地域の自然環境に関する普及啓発資料作成業務 ・ノグチゲラ保護増殖事業(ノグチゲラ観察ルール)	沖縄島北部3村全域	遺産価値(生物多様性と生態系)を保全するため、以下の取組み等を実施することで自然利用に伴う負荷の低減を図る。 ○利用分散のための周辺地域への利用誘導 ○希少種の観察ルール等の検討・普及啓発	不明	
5 利用の質の向上に向けた取組の強化	東村(企画観光課)	グリーンツーリズムインストラクター要請スクール	東村全域	インストラクターに必要な基礎知識などを学ぶ養成講座を行った。	不明	
		東村自然体験指導者等養成事業	東村全域	自然体験活動指導者の養成	不明	
5 利用の質の向上に向けた取組の強化	沖縄県(観光振興課)	環境共生型観光推進事業	沖縄島北部	エコツーリズムに関する意見交換	平成29年度	

行動計画の事業項目	実施主体	事業名	対象地	事業概要 ＜関係する会議体＞	事業完了年度	備考欄 (現行事業との関係等)
5 利用の質の向上に向けた取組の強化	国頭村(世界自然遺産推進室)	国頭村森林ツーリズム推進全体構想策定事業	特定フィールド	森林の保全と適切な利用を図るため、利用フィールド、利用ルール、ガイド制度を構築し、持続可能な森林ツーリズムを行う。	平成 29 年度	
5 利用の質の向上に向けた取組の強化	東村(企画観光課)	観光産業人材育成事業(2014～2018 年度)	東村全域	安心・安全な観光案内ができるよう自然ガイドの育成を行う。	平成 29 年度	平成 30 年度は別事業で東村観光推進協議会が講習会開催
5 利用の質の向上に向けた取組の強化	国頭村(世界自然遺産推進室・企画商工観光課)、大宜味村(企画観光課)、東村(企画観光課)	やんばる型森林ツーリズム推進事業(※国庫補助及び県拠出事業)	3 村の特定フィールド	3 村世界自然遺産推進協議会策定の「森林ツーリズム推進全体構想」にもとづき、フィールド毎に利用ルールやガイド制度の仕組みを具体化した上で運用・検証し、やんばるの森の適切な利活用を目指すものである。＜3 村世界自然遺産推進協議会(3 村森林ツーリズム部会)＞	令和元年度	
5 利用の質の向上に向けた取組の強化	名桜大学 国頭村(世界自然遺産推進室)、大宜味村(企画観光課)、東村(企画観光課)	名桜大学地(知)の拠点大学による地方創生推進事業	3 村全域	世界自然遺産登録後に訪れるであろう多くの外国人観光客に対応するため、英会話講座を行い、受け入れ態勢の強化を図る。	令和元年度	
6 施設整備による負荷の低減と適正利用の推進	沖縄県(自然保護課)	自然環境整備事業	国頭村 大宜味村	自然公園内において、優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図るため、遊歩道、休憩所、公衆トイレなどの整備を行う。	不明	
6 施設整備による適正利用の推進	東村(企画観光課)	慶佐次湾ヒルギ林周辺の公園整備事業	慶佐次地域	国指定の天然記念物である慶佐次湾のヒルギ林の保護と利活用を目的に遊歩道や駐車場などを整備。	不明	
6 施設整備による適正利用の推進		平成 20 年度 持続可能な観光地づくり支援事	慶佐次地域	東村ふれあいヒルギ公園内の公衆トイレが容量超過のため、	平成 20 年度	

行動計画の事業項目	実施主体	事業名	対象地	事業概要 ＜関係する会議体＞	事業完了年度	備考欄 (現行事業との関係等)
		業		悪臭が発生し周辺環境へ悪影響をあたえる問題があったので保全と利用のバランスをとりながら活用していくために観光案内所を整備した		
6 施設整備による適正利用の推進		東村観光施設機能強化事業	東村	慶佐次川でのカヌー体験の人気がある一方で慶佐次川での利用集中による環境負荷や混雑感から利用者の満足度低下が懸念されていたので負荷の軽減を図るため、新たなフィールドの創出を行った。	平成 28 年度	
6 施設整備による適正利用の推進	大宜味村（企画観光課）	やんばるの森ビジターセンター整備事業	津波地域	旧大宜味中学校跡地にやんばるの森ビジターセンターを整備し、その中で自然環境の活用及び保全を図る取り組みとして、やんばる3村における自然環境映像等により疑似体験をしてもらい、より身近にやんばるの自然を感じて頂くことでおり興味を掻き立て、自然保護への意識を高めてもらう。	令和元年度	
<b>6) 地域社会の参加・協働による保全管理</b>						
2 照葉樹の森再生事業の実施	国頭村（経済課）	機能回復整備事業	国頭村全域	森林機能の回復・増進等の観点から、林木の生長が不良な土地や耕作放棄地等を対象として造林事業を行う。	平成 29 年度	
4 沖縄島北部の河川における調査及び自然再生事業の推進	沖縄県（河川課）	奥川自然再生事業	奥川	奥川は過去の河川整備により、氾濫は軽減されたものの豊かな自然環境と健全な生態系が消失している状況にあるため、再生・保全を図る。 ＜奥川自然再生協議会＞	平成 29 年度	

行動計画の事業項目	実施主体	事業名	対象地	事業概要 ＜関係する会議体＞	事業完了年度	備考欄 (現行事業との関係等)
4 沖縄島北部の河川における調査及び自然再生事業の推進	国頭村(企画商工観光課)	奥川自然再生事業	奥地域	河川生態系の再生、外来水生生物等の適正管理の取組みの自然再生を通じて地域づくりを図る＜奥川自然再生協議会＞	平成 29 年度	
4 沖縄島北部の河川における調査及び自然再生事業の推進	沖縄県(環境再生課)	自然環境の保全・再生・防災機能戦略的構築事業	慶佐次川	慶佐次川自然環境再生協議会	令和元年度	
7) 適切なモニタリングと情報の活用						
1 情報発信と活用	沖縄県(自然保護課)	地域部会運営支援業務	沖縄島北部3村	地域部会の関係者向け非公開ホームページを運用し、地域部会での会議資料等について関係者間で共有を図る。	令和元年度	